

花咲き山

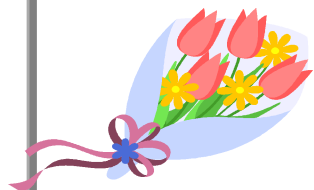
令和2年度
飯豊町立飯豊中学校
第1学年だより
第34号
2020.11.20
文責：小松正義

モニトプロジェクト で温かい気持ちに

「モニトプロジェクト」とは、相手のことを考え大切にすることを行動に表す取り組みです。相手には自分がモニトだということを伏せたまま行います。誰が自分のモニトなのか知らないまま1週間過ごしました。子ども達は、抽選で決まった相手にどんな優しさを届けられるか考えながら取り組んでくれました。ばれないように相手に伝えることの難しさも味わったようです。子ども達の振り返りをご覧ください。

僕はモニトを行って、
どんなふうにして気づ
かれないようにしよう
か考えました。ですが、
普段良いことをしてい
ないので、すぐ気づか
れてしまいました。自
分でも笑ってしまいま
した。それでも、相手
に良いことをしっか
りできたので良かった
です。とても楽しいプロ
ジェクトでした。

一組 伊藤 日向



二組 樋口 伶心愛

モニトプロジェクトに取り組んでみて、最初はどのようなプレゼントを贈ったら良いのかわからなかったけど、日常生活で「ありがとう」や「すごいね」などの言葉でも、すごくうれしくなるんだなあと思いました。私がお味噌汁を運んでいたら、心結ちゃんが「手伝うよ」と言ってくれてうれしかったです。

誰かに何かをしてもらうのは、すごくうれしいことだし、これからの日常生活でも、相手が喜ぶような言葉や行動をしていきたいです。

二組 船山 愛莉

私は今回のモニトプロジェクトに取り組んでみて、あまり話をしない人との会話やコミュニケーションがとれて、すごくうれしかったです。もう終わってしまいましたが、これからもいろんな人との関わりを大切に生活し、たくさんの方が誰とでも楽しく話ができるようにしたいです。

一組 小松 優治

(相手に対して) あまり良いことはできませんでしたが、良いことをしてあげようという思いで生活することができました。良いことをするのは、そう簡単なことではないということも知ることができたので、学期に一回あっても良いと思います。
これからも日頃から良いことができるように、生活したいです。

一組 齊藤 美紅

モニトプロジェクトに取り組んで、秘密にしながら良いことをしてあげることが楽しかったし、今までより仲良くなれたので良かったと思います。

発表するまでの間も、すごくドキドキするし、良いことをするとはどういうことかも考えられるのでとても良い取り組みだったと思います。私はこの取り組みを年に1回より、学期に1回など回数を増やしたら、さらに良くなるんじゃないかなと思いました。



プレゼントは言葉や行為です。子ども達の振り返りを見ていると、私たち大人が忘れてしまった心を、思い出させてくれるように、純粋に相手の行為を受け取っていることが分かります。素直に難しいと認めているところも正直だなと思います。

温かい気持ちになったのは私だけでしょうか・・・？

二組 横山 叶多

今回のプロジェクトでは、相手から言葉のプレゼントが贈られてきました。自分では当たり前のことだと思っていたことに、「ありがとう」の言葉ももらいました。良いことをすれば、良いことが返ってくるんだなと思いました。自分では行動面で相手にプレゼントを贈れたと思います。今回は誰がモニトか分からない状況で、どんなプレゼントが贈られてくるのかも分からないドキドキ感があったとても楽しかったです。相手からプレゼントが贈られてきて、とても嬉しかったです。相手に何かしてもらったら、「ありがとう」といえる気持ちを持つことが大切なんだなと思いました。

